

保育所保母の

実態について (2)

日本福祉大学 久世 妙子

〔IV〕生活態度、児童観

(1) 保母としてどんな心構えが必要か 表1の十の生活態度に順位をつけさせたところ、この表のような順位になった。
 (2) 児童にとって大切な事柄 一対比較法により五つの事柄を比較させたところ、2表の結果を得た。
 (3) 具体的場面における保育方法 三つの具体的場면을提示し、各

1表 順位づけ法でみた保母の生活態度

生活にとって大切な事柄	順位
健康	1
園児への愛情	2
社会人としての自覚責任	3
経済的安定	4
研究生活	5
他人とうまくやってゆくこと	6
私生活を大切にすること	7
宗教	8
趣味けいこごと	9
社会的地位をうること	10

2表 一対比較法でみた児童観

児童にとって大切な事柄	順位
健康であること	1
誰からも愛されるような子になること	2
社会性を養うこと	3
個性をのばす	4
知識を教えること	5

々の場合、どんな保育方法をとるかを調べた。結果は、場面の種類によってとられる方法が異なること。年長の保母ほど児童中心の方法をとる傾向が大であることがわかった。

(5) 保母さんの社会的地位を高めるには、今どういうことをしたらよいか 全体の三六、五%が第一に保母の資質を向上させることであるといっており、研究会や講習会を開くことを希望している。

〔V〕人間関係 職場内の人間関係では、園長との関係が一番悪く、次が小使さんとの関係であった。「父兄との関係」、「自分の家族との関係」、「役所との関係」では、相手の保育所や保母の職務に対する無理解さからくる問題が指摘されている。

〔VI〕保育上の悩み 日常の保育で困っている問題は、第一に問題児の取扱い方、第二に設備備品の不備があげられた。

〔VII〕恋愛、結婚 保母の恋愛、結婚についての悩みを三つの側面から調査した結果、共通して出てきたのは、勤務時間が長いことと労働過重が原因となっているものであった。未婚者には、異性との交際の機会のないことを指摘したものが二七、七%あった。

保育所における友人関係について

広島・宮之原保育所 川根 京子

第一次テスト

一、研究期日 昭和三十二年六月